

| 科目名称(Course Title) | | | | 担当教員(Instructor) | |
|---|-------------------------------|-----------------------|----------------------|---------------------------------|--------------------------|
| 医療管理論 I | | | | 星 雅文 | |
| 開講学期 (Semester) | 単位数 (Credits) | 履修年次 (Requirement) | 授業形態 (Class Type) | 受講定員の有無 (Maximum Enrollment) | 授業公開 (Workshop Class) |
| 前学期 | 2単位 | 2年次 | 講義 | 無 | 無 |
| 授業の概要(Course Description) | | | | | |
| <p>本講では、大学までの教育課程においてほとんど学ぶことのなかった医療の制度や仕組みについて学ぶ。講義中に現れる専門用語の一つ一つが新しく、耳慣れないであろうし、それに戸惑う学生も少なくないであろう。しかしこれこそが、医療の専門職たる診療情報管理士に対して最も期待されている知識である。医療は専門職者（プロフェッショナル）集団で成り立っている。一方で医療の全体像を俯瞰する者は少ない。診療情報管理士はその数少ないプロフェッショナルの一人でなければならない。そのために、本講では病院内の四つの経営資源（モノ・ヒト・カネ・情報）をどのように管理（マネジメント）するのかを理解するために、まず関連する法令や基準とその変遷について広く学ぶ。</p> | | | | | |
| 授業の到達目標(Course Objectives) | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1) わが国における医療の現状について、制度の変遷を交えて説明することができる。 2) 医療に関わる法律（医療法・健康保険法、医師法など医療従事者に関わる法律）を解釈できる。 3) 医療機関において活躍する医療専門職の現状とその役割について説明することができる。 4) 医療機関の特殊な組織形態や人事・労務管理について、説明することができる。 | | | | | |
| 授業計画(Course Schedule) | | | | | |
| 第 1 回 | わが国の医療の現状と「診療情報管理士」の関わり | | | | 第1章 |
| 第 2 回 | 医療における物的資源 | | | | |
| 第 3 回 | 医療における人的資源（医療専門職について） | | | | |
| 第 4 回 | 医療における財的・情報資源 | | | | |
| 第 5 回 | わが国の医療制度 | | | | |
| 第 6 回 | わが国の医療制度と諸外国の医療制度の比較 | | | | |
| 第 7 回 | わが国の医療の動向と需要・供給 | | | | |
| 第 8 回 | 地域医療、および医療計画の現状と課題 | | | | |
| 第 9 回 | 医療関連の法規定について（医療法） | | | | |
| 第 10 回 | 医療関連の法規定について（介護保険法等、社会保障関連法規） | | | | |
| 第 11 回 | 医療関連の法規定について（健康に関係する法規） | | | | |
| 第 12 回 | 医療関連の法規定について（感染症、医薬品に関連する法規） | | | | |
| 第 13 回 | 医療機関の経営管理について | | | | 第2章 |
| 第 14 回 | 医療機関の組織形態について | | | | |
| 第 15 回 | 医療機関の人事・労務管理について | | | | |
| 授業時間外学習(Supplementary Activities) | | | | | |
| <p>講義ではテキストを使用せずプリントによって講義を行う。復習として講義ノートと共にプリントの該当ページを必ず一読すること。特に医療の専門用語は特殊であるため、早く慣れるためにもプリントを存分に活用する（マーカー、書き込みなどで大いに汚す）こと。</p> | | | | | |

| 成績評価の方法と基準(Grading) | |
|---|---|
| 評価方法 (割合) | 評価基準 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 期末試験 (70%) ・ 中間テスト (30%) | <p>秀 : わが国の医療の現状や制度、医療専門職について、<u>わかりやすく説明ができ、かつ、問題点を的確に指摘</u>できている。</p> <p>優 : わが国の医療の現状や制度、医療専門職について、関連するキーワードを挙げ、<u>わかりやすく説明</u>することができている。</p> <p>良 : わが国の医療の現状や制度、医療専門職について、関連するキーワードを挙げ、<u>それらについて述べる</u>ことができている。</p> <p>可 : わが国の医療の現状や制度、医療専門職について、関連するキーワードの理解において、最低限の水準を満たしている。</p> |
| <p>テキスト (Textbook)</p> | <p>【書名】 診療情報管理Ⅲ 【著者】 日本病院会 (第1～2章)</p> <p>【出版社】 株式会社日本病院共済会 【出版年】 2018年7月版</p> |
| <p>参考書・資料等 (Supplementary Reading)</p> | <p>『診療情報管理士教育問題集(専門課程)』 : (社) 日本病院会 『<イラスト図解>病院のしくみ』 : 日本実業出版社</p> |
| <p>備考 (Other Information)</p> | <p>医療の専門科目は各回の講義内容が次の講義につながるが多いため、欠席により講義に付いていけなくなる恐れがある。事情によりやむなく欠席した場合は、後日必ず資料などを受け取り、講義出席者と同様の復習を行うなど、積極的に取り組んでいただきたい。</p> |
| <p>教員との連絡方法 (Contact With Instructor)</p> | <p>講義や会議、あるいは出張などにより研究室に不在であることが多いため、火急の際には下記の連絡手段を用いてアポを取ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Email : hoshi-masatake@fukuchiyama.ac.jp ・ 携帯電話 : 090-1616-8855 (SMS可) |